



敦賀本部



核燃料サイクル開発機構と日本原子力研究所は、2005年10月1日に統合し、独立行政法人「日本原子力研究開発機構」としてスタートしました。(以下、「原子力機構」)

【技術交流情報】-ハイドロゲルによる家畜排泄物堆肥化試験実施-(参加者:18団体22名)

試験で使用する乾燥ゲル(散布前)



排泄物上へのゲルの散布状況(6kg)

地域産業界との共生に向け、研究開発の成果を紹介し検証していただくため、今回、二法人統合後、初の取組みとして、畜産関係者から関心が高かった上記試験を、去る10月12日に田邊牧場様(敦賀市山中地係)のご協力を頂き実施いたしました。当日は、地元酪農家初め、行政、研究機関より多くの皆様のご参加を頂き、ハイドロゲルと粉碎粕殻並びに古紙を用いて試験を実施したところ、期待どおり粕殻の使用量が従来の1/6程度に減量出切ること等が確認され、その有効性が実証されました。今後は堆肥化までの経過を観察しながら、品質面からも検証していく予定です。

今、世界的に畜産の健全な維持発展と食料の安全、安心、安定確保を両立させる環境保全型畜産の構築が急務になっている中、ハイドロゲルへの認識がなお一層深まり早期の実用化に大きな期待が寄せられました。(技術展開推進Gr.宇野)



散布後約2時間におけるゲルの状況

-「丹南フェア」「北陸テクノフェア」開催される-

「丹南産業フェア2005(9月17日(土)~19日(月)サンドーム福井)」

「北陸技術交流テクノフェア2005(10月13日(木)、14日(金)福井産業会館)」

この両フェアにおいて、文部科学省主催の「もんじゅフォーラム」が開催され、原子力機構からは、“高速増殖炉「もんじゅ」について”の講演や、“高速増殖炉「もんじゅ」の開発意義”、“改造工事について”、“成果展開事業の事例”、“技術交流の状況”などのパネル展示を行ない、非常に多くの方と交流を持たせていただきました。中でも越前焼との技術交流の紹介では、「もんじゅ」の技術が意外なところにも応用されている事例として興味を引いたようです。ご質問の中には、展示したツボを手を、”ツボとカメとはどう違うのか?”というユニークな質問も頂き、四苦八苦いたしました。

またラジオの生放送も現場より行われ、そのラジオを聴いて来場されたという方もおり、非常に熱心に聞いてくださいました。今後とも、このようなフェアを始め、いろいろな展示会等で皆様と交流を持てれば良いな...と思います。ご来場されました方々、ありがとうございました。(技術展開推進Gr.玉脇)



一口メモ!

ツボとカメの違い...?
 “カメは壺のように口がくびれておらず...”

(その他にも違いがあるそうです...)

【イベント予定】

- 説明会、展示等 -

【2005産学官技術交流フェア】

日時:平成17年11月30日(水)~12月2日(金)

場所:東京国際展示場(ビックサイト)

展示物:成果展開事業、技術交流等についてパネル展示予定

【越前焼きの技術交流情報】

11/1~11/4:

榊田屋さんの穴窯に

熱電対(21本)等取付け工事

11月中旬:窯炊き(温度計測)

日本原子力研究開発機構
敦賀本部
経営企画部 技術展開推進Gr
担当 中島 準作(近藤 清美)
〒914-8585
福井県敦賀市木崎65-20
TEL:0770-21-5033
FAX:0770-23-5782
http://www.jaea.go.jp